

# 誰一人取り残さないための学力向上アクション

江戸川区立小岩第二中学校

令和8年度までの目標	国 語		数 学	
	自校 AB 層の割合	60%	自校 AB 層の割合	60%

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科指導の向上を目指し、毎学期教科部会の時間を設定し、教科指導や効果的な教材、取組などについて話し合う。</li> <li>・教科間で授業を見合い、お互いにアドバイスを交換し合える環境にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に5教科で基礎学力を強化する課題を出す。</li> <li>・未来シードのドリルを紹介し、実施する時間を設定する。</li> <li>・定期考査前などに、教え合いのグループ学習を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校で取り組んでいる家庭学習帳をそのまま継続し、声掛けや工夫をプラスしていく。</li> <li>・東京ベーシックドリルを紹介し、実施する時間を設定。家庭で自由に組み立てる状態にする。</li> <li>・5教科から、小テストの設定を多くしてもらい、小さな家庭学習の目標を持ちやすくする。</li> </ul>
特に支援必要な生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で「教え合い」、「学び合い」の時間を取り入れた授業の考案を積極的に行う。</li> <li>・個別にアドバイスをすることを、こまめに行うようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学と英語に関しては、放課後補習を紹介、活用を促す。</li> <li>・授業後などに教師から積極的に質問はないかの声掛けをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃から家庭学習の内容についての具体的なアドバイスをこまめにする。</li> <li>・「江戸川っ子 study week」のような特別な取組の時は、学習が苦手な生徒への学校での支援をプラスする。</li> </ul>
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査と授業評価で「授業の内容はよくわかりますか」の項目が85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査と授業評価で「授業の内容はよくわかりますか」の項目が85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力調査の「家庭での学習時間は1時間以上」の生徒を80%以上</li> </ul>